

年	組	名前
---	---	----

2011年度に大分県内で排出されたごみの総量（一般廃棄物）は約41万2千トンと5年前に比べ、減少しました。

2011年度県内のごみ排出の状況

	総排出量(トン)	1人1日当たり排出量(2 ³)	リサイクル率(%)
大分市	165,389 (▲18.7)	949 (▲21.0)	23.9 (3.6)
別府市	52,429 (▲13.4)	1,192 (▲12.2)	17.8 (8.3)
中津市	32,836 (▲7.9)	1,051 (▲7.9)	15.9 (2.4)
日田市	25,968 (▲3.1)	992 (0.7)	32.6 (9.8)
佐伯市	25,920 (▲8.0)	898 (▲3.9)	23.2 (▲3.2)
臼杵市	12,521 (▲13.3)	798 (▲10.0)	18.5 (▲1.5)
津久見市	6,366 (▲18.4)	861 (▲11.5)	72.4 (▲0.9)
竹田市	6,534 (▲8.3)	717 (▲1.1)	19.0 (5.0)
豊後高田市	8,453 (▲9.1)	951 (▲4.1)	11.4 (▲0.3)
杵築市	7,067 (▲15.4)	602 (▲10.9)	19.0 (6.8)
宇佐市	19,246 (▲9.2)	869 (▲6.3)	10.3 (▲2.0)
豊後大野市	11,757 (0.3)	805 (6.2)	17.4 (▲5.2)
由布市	12,415 (15.9)	940 (17.4)	7.2 (▲5.1)
国東市	9,197 (5.6)	784 (12.5)	20.1 (14.0)
姫島村	768 (▲15.8)	876 (▲6.9)	2.7 (▲0.6)
日出町	7,699 (▲6.1)	734 (▲8.0)	12.9 (▲1.8)
九重町	2,529 (▲10.9)	646 (▲5.3)	8.3 (▲9.3)
玖珠町	4,862 (▲8.8)	759 (▲3.7)	7.6 (▲1.9)
県	411,956 (▲12.6)	935 (▲11.7)	21.1 (2.9)

*カッコ内は06年度比の増減(%). ▲はマイナス

県内06年度→11年度

2011年度に県内で排出されたごみの総量（一般廃棄物）は約41万2千トンと5年前の06年度に比べ、5万9千トン、12・6%減少していることが県のまとめで分かった。県民1人1日当たりの排出量も9・35%と11・7%の減。県は「レジ袋の有料化など県民の環境への意識が高まり、ごみの減量化につながっている」としている。

ごみ12・6%減少

排出量は18市町村のうち15自治体で5年前より減った。最も減少率が大きかったのは大分市で18・7%。津久見市の18・4%、姫島村の15・8%と続いている。1人1日当たりの排出量は、大分市(21・0%減)、別府市(12・2%減)、津久見市(11・5%減)の順になっている。大分市は「07年度から、ごみの分別を8種類から12種類へと細分化し、市民のごみ減量への関心が深まった。一般廃棄物と一緒に処分していた事業系の木くずや紙くず、金属くずなどの産業廃棄物を受け入れないようにしたことも大きい」と分析。「ここ1、2年は横ばいか、わずかに増えている傾向があり、家庭ごみの有料化も現在検討している」としている。

リサイクル率も上昇 環境意識の高まりで

一方、排出量が増加したのは由布、国東、豊後大野の各市。日田市は総排出量は減ったものの、1人1日当たりの排出量でみると、わずかながら増えていた。増加率が15・9%と最大だった由布市は「原因は分からないが、市内の一部で人口が増えていることが影響しているかもしれない。詳しく分析し、対策を取りたい」としている。排出されたごみのうち、再生利用されたリサイクル率は7市町で上昇し、県全体では21・1%と2・9%上がった。県は11年度から第3次廃棄物処理計画を推進し、15年度のごみの総排出量36万9千トン以下、1人1日当たりの排出量876g以下、リサイクル率23%以上の数値目標を掲げている。「市町村や地域などと連携し、循環型社会の機運を高め、ごみの減量化を進めたい」と話している。

(2013年8月30日朝刊23面)

① 5年前からの減少は、総量は何トン、割合は何%ですか。

.....

.....

.....

.....

② 18市町村のうち、何自治体で減りましたか。最も減少率が大きかった自治体はどこで、何%でしょう。

.....

.....

.....

.....

③ ごみを減らすため、自分たちでできる取り組みを考えてみよう。

.....

.....

.....

.....